

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成27年6月30日

大分県知事 殿

提出者

住 所 大分県中津市耶馬溪町大字金吉5197-16

氏 名 脇坂 和義

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	脇坂 和義
事業場の所在地	大分県中津市耶馬溪町大字金吉5197-16
計画期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	牛 182頭
③ 従業員数	4 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 自ら堆肥化 動物の死体 処理業者へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 26 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	2397 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	2397 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
動物の糞尿	①現状	【前年度（26年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	動物の糞尿
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2397 t
		(これまでに実施した取組) ・堆肥化	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	動物の糞尿
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2397 t
		(今後実施する予定の取組) ・堆肥化	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	①現状	【前年度（                      年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
		(これまでに実施した取組)	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 状	【前年度（26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		動物の死体
	全処理委託量		2.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(これまでに実施した取組) ・動物の死体は委託業者へ委託処理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		動物の死体
	全処理委託量		2.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t
	再生利用業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			